

鷺橋附近は隈戸川の下流部分に相当するので、上流の信夫一小の川原のレキを整理し、資料を比較させることによって、流水のはたらきの理解が一層深まる。

川 谷 小 学 校

1、地層の観察

(1) 観察する場所

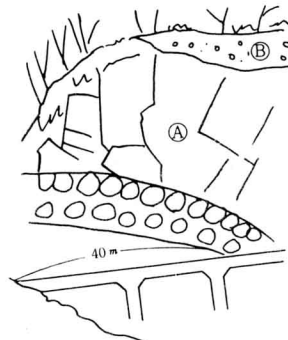
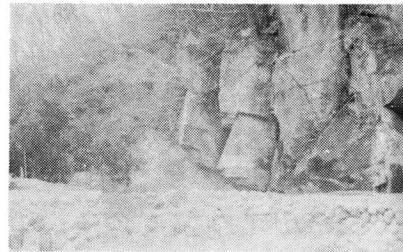
西乃郷キャンプ場（老人福祉センター）

(2) がけに見られる地層

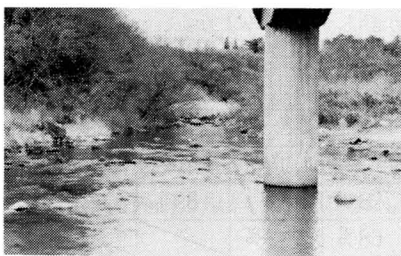
阿武隈川の両岸には塊状の白っぽい④層が垂直ながけをなしています。この岩石は白河石と呼ばれる石英安山岩質溶結凝灰岩で、この噴火口は鎌房山とされています。（成因は白河一小を参照）

⑤層は大きな円レキからなる段丘性のレキ層で、水分を含んでいる層です。

このレキ層は沖積世に④層の浸食面につもったものです。



2、川原のようすと流水のはたらき



川末には1 mを越える巨大なレキがゴロゴロしており、早瀬も多く、流れは岩にぶつかり、しぶきを上げ、音を立てて流れ下っています。